

## 入居者様の障害状況等について

### ●Aユニット

知的障害(重度により全介助含む)→4名

身体障害者(高次脳機能障害含む)→4名

うつ病→1名

※介助度が高い利用者様が多く、更衣・排泄・移乗・入浴等の介助が多い

深夜帯問わず定期的にトイレ誘導やパッド交換を実施が必要(6名)

日中夜問わず声出し激しい利用者様がいらっしゃる(1名)

認知機能が低く意思疎通が難しい利用者様もいらっしゃるの  
ので離設される場合もあるので常に見守りが必要である(徘徊あり)

また行動障害が強い方もいらっしゃるの  
ので注意が必要である

失語の利用者様もいらっしゃるの  
ので表情などで把握することも必要

### ●Bユニット

脳性麻痺(身体障害・知的障害)→1名

知的障害→1名

ダウン症→1名

身体障害(高次脳機能障害含む)→3名

統合失調症→2名

自閉症スペクトラム障害→1名

強迫性障害→1名

※10代～60代の利用者様が混在し、障害も様々なので個々への支援方法が大きく異なり

細かい表情や言動等で利用者様の状態を把握することが必要となる

離設や自傷他害など突発的に行動障害が強くなる利用者様がいらっしゃるの  
でこちらも常時、見守りが必要である

長時間動きが固まる利用者様に対してはこまめな声掛けが必要

全介助の利用者が1名いるので深夜帯定期的に排尿介助が必要

自身の思っていることを上手く伝えることのできない利用者様もいらっしゃるの  
で意思カードやしっかりと傾聴することが必要

両ユニット共に精神科と併用し多数の医療機関を利用されている方が多い

例(内科・泌尿器科・整形外科・てんかんセンター)